

## 通商の促進

(経済産業部)

### 1 取組方針

T P P 11、日 E U ・ E P A の相次ぐ発効に加え、外国人材の受入を拡大する改正出入国管理法が施行されるなど、通商を取り巻く情勢は、劇的に変化している。

このような変化を新たな飛躍への契機として捉え、高付加価値化やブランド化の推進等による競争力強化や世界展開の推進に積極的に取り組み、農林水産物をはじめとする産業構造の一層の強化を図っていく。

### 2 平成 30 年度の主要な成果

- ・ 静岡空港の航空貨物需要に繋がる小型旅客機専用輸送パレット開発
- ・ 有機抹茶等の生産拡大
- ・ ハラル等多様な食文化への対応に取り組む事業者支援
- ・ 化粧品産業の海外進出支援
- ・ 2018 日米医療機器イノベーションフォーラム静岡開催
- ・ モンゴルとの交流、通商拡大 など

### 3 平成 31 年度の主要な取組

#### (1) 本県産業の競争力強化と世界展開の推進

- ・ 成長産業分野への参入をめざす地域企業に対する技術相談から研究開発、販路開拓までの一貫支援
- ・ 世界的に進む E V 化や自動運転などの急速な技術革新への対応支援
- ・ 化粧品、機能性表示食品等の研究開発から製品化、販路拡大までの一貫支援
- ・ ビジネスサポートデスクの充実や海外見本市の出展支援
- ・ ジェトロ等と連携したセミナー開催支援、経済ミッションの実施
- ・ M O U 締結等による経済分野でのパートナーシップの構築促進
- ・ 取引に向けたエンブラエル社と県内企業との調整
- ・ 市町と連携した ICT サテライトオフィス等の誘致 など

#### (2) 力強い「攻め」の農林水産業の創出

- ・ 輸出拡大にチャレンジする事業者の支援
- ・ お茶、日本酒をはじめとした県産品の海外販路開拓の支援
- ・ 生産構造の転換等の生産性向上のための施設整備等への支援
- ・ G A P 認証取得助成等による国際水準 G A P の取得促進
- ・ 清水港をモデルとした継続的・安定的な輸出体制の構築
- ・ 家畜飼養管理施設等の整備による畜産競争力の強化
- ・ 北京国際園芸博覧会への出展 など